

2019年1月16日、来院。50代女性。再婚の夫がいる。子供はいない。1ヶ月前から頭痛・頭重、鼻づまり、肩凝り。後頭部から項にかけて乾癬。初潮の頃、月に2度生理、子宮発達未熟でピル服用により月に1度となった。子供の頃、風疹悪化で中耳炎、抗生物質服用、その後、カゼのたびに中耳炎で抗生物質服用。そのために、27・28歳頃、カビが原因の肺炎、抗真菌剤服用。乾癬は20歳頃から良くなったり悪くなったりで、1年程ステロイドで良くなったが、中止すると、また悪くなった。

顔がやや赤黒く、痩せている。白髪が多い。舌下脈絡の怒張強く、細く枝分かれしている。胸下部、特に左側と中央やや上部に邪熱。腹にはガスが多い。脈は弱く固まっていて瀉。

胸下部の邪熱を瀉し、お腹の虚寒を補うよう、局所、そして背側から鍼灸施術、また手足の経脈を通して施術した。

18日来院。一昨日治療後は調子良かったが、昨日は頭痛、今日は頭痛がない。舌下脈絡の怒張は減り、お腹のガスも減っている。

その後、週1回、場合によって2週に1回来院。胸下部の邪熱が背側に出ている部分で強く発している場合には刺絡。また状態に応じて、黄連湯・柴胡桂枝湯、花粉症が出始めてからは小青竜湯を服用した。ここでの治療以前に比べて、状態は良くなっているが、不安定な状態が続いていた。頭は虚熱の場合が多い。

5月14日来院。漢方薬は加味逍遙散のみ。

5月21日来院。血圧は170台の時があり、今朝は147/87だった、また鼻血もあったと言う。初診時のカルテには100/80とあるから、かなり上がっている。心配しているので、加味逍遙散を中止。

5月28日来院。血圧124/8x。最近は安定し

て高くないと言う。

6月4日来院。職場の健診があり、血圧160他、LDLコレステロール高、血糖値高。乾癬部の痒みに対して、紫雲膏+黄柏末1割を勧めた。

その後、同様なペースで来院。加味逍遙散服用再開。血圧、時に150となることはあったが、ほぼ安定。

9月3日来院。乾癬が良くなって来ている。

9月10日来院。レバーみたいな鼻血が出たと言う。

9月14日来院。鼻血が何回か出たと言う。

10月1日・19日来院。血圧11xで安定。乾癬がほぼ無くなった。項が痒いというので、見ると多少白い。目も痒いと言う。花粉症の影響もあるかもしれない。

こうした経過を考察すると、鼻血が瞑眩となって乾癬が治ったことが分かる。そして体が鼻血を出そうとする過程で血圧が高くなっている。紫雲膏+黄柏末を薬局で貰う時に、乾癬は今では注射で治るようになったと言われたそうである。ちょうど患者が仕事上で会った人は乾癬で、注射を打っている5年間はきれいになったが、やめると再発したと話していたと言う。

私もちょうど9月頃、モデルの道端アンジェリカさんが乾癬であることを以前、公表したというネット記事を目にした。彼女も自己注射や病院で注射を受けているという。抑えられているだけで、本当に治ったわけではなく、ミスリーディングである。

さて、当患者は表面的には乾癬が治ったが、まだ項や目の痒みがあり、血毒は鼻血でかなり減ったとは言え、まだ残っている。今後、治療を続けることで、そうした痒みもなくなり、また肌も白くなり、痩せている体がしっかりして来るだろう。(2019年10月寒露)